

総務大臣 林 芳正 殿

小矢部市長 桜井 森夫

事後評価報告書（再評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日 : 令和3年12月1日  
(2) サービス開始日 : 令和3年12月2日

2. 目標達成状況（累計）

指 標	目標 (目標年度)	(実績値/目標値)				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
家庭用 Wi-Fi	2,700 (令和7年度)	421/300	987/1,050	1,824/ 1,800	2,643/ 2,400	3,053/ 2,700 (9月末時点)

(参考)

提供可能回線数	利用回線数				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
9,848 回線	421	987	1,824	2,643	3,053 (9月末時点)

### 3. 目標達成に向けて実施した取組

- ・指定管理者であるとなみ衛星通信テレビ株式会社のホームページへのサービス情報の掲載の他、SNS や WEB 広告を活用し、若い世代への PR 活動を促した。
- ・普及促進のため、光サービスへの加入及び既存サービスからの移行についての工事費無料のキャンペーンの広報活動を行った。

### 4. 評価

家庭用 WI-FI について

取組の結果、令和 7 年 9 月末時点で令和 7 年度末の目標を達成することができた。

利用回線数

右肩上がり増加しているものの、令和 7 年 9 月末時点における提供可能回線数は 9,848 回線であり、その内利用回線数は 3,053 回線で利用率は約 31%となっている。これは、エリア内に競合他社が存在し、約 7 割の世帯が既にブロードバンド契約を結んでいる状況であり、競合環境にあることに加え、エリア内の高齢化の加速が要因となっている。

今後はこれまで以上に、未加入世帯および他社利用世帯について、これまで実施してきた取り組みも継続しながら、訪問も含め、サービスの利便性を周知することで、積極的な加入促進を図りつつ、未加入者に対して実行速度の優位性や必要に応じたサービスプランを伝えていきたい。